

市民病院

林明敏議員（市民クラブ）

問 市民病院の赤字の要因について伺う。

答 【市民病院事務局長】平成28年度の全国の公立病院の病床利用率の平均は73.2%、市民病院の病床利用率は57.2%で、15ポイント下回っている状況である。また、市民サービスの向上のために訪問介護ステーションや居宅介護支援事業所を組織して在宅医療に積極的に取り組んでいるところであるが、現状は赤字部門となっている。

田村明美議員（日本共産党）

問 市民病院の経営改善の柱は医師の確保拡充だが、この間の市長の取り組みは。

答 【市長】7月に香取海匠と成田市の各首長、病院長で構成する会議があり、医師確保対策に地域全体で取り組み、首長みずから先頭に立ってかわかっていくこととした。医師不足病院への医師派遣については知事にも要望している。

問 市民病院の耐震性は。災害医療協力病院としての機能は。

答 【病院事業管理者】耐震診断の結果、昭和46年建築部分についてのみI値が0.50となっている。災害医療協力病院の役割は、災害時に中等症患者、重症患者を受け入れ、状況に応

じ重症患者は他院への搬送を行う。施設が被災することがあれば、災害協力病院の機能が十分発揮できない恐れがある。

問 市民病院の耐震診断はいつおこなわれたか。

答 【病院事務局長】平成8年に実施している。

刈谷進一議員（二十一世紀の会）

問 建替え問題について、決算時（平成32年度末）に2,434万1,000円の黒字を目標としているが、黒字になったら建替えの協議を再開することなのか。この黒字目標では経営改善とは言えないのではないか。

答 【市長】病院の経営再建がなされたらということ、そのめどが平成32年度の病院の決算の中で黒字を見込んでいるということ、その数字を目安に検討したいと考えている。建設をするということではなく、再建をしていくその基準として、数字を挙げています。内容についても、いろいろと市からの補助の内容等もある。内容も精査した中で、平成32年度の決算に照準を合わせて、議会との連携も密にしながらか協議をし、再建の道筋を立てていきたい。

田村明美議員（日本共産党）

問 経営形態についても、立て直しを図る上では、平成32年度までには論議していく場が必要であると思うが、今後どのように対応していくのか。

答 【病院事務局長】病院事業運営委員会の中で検討していく。

産業

林明敏議員（市民クラブ）

問 鳥獣被害対策についての市の取り組みについて伺う。

答 【産業振興課長】農業関連の有害鳥獣対策では市が所有する箱わなは大型1台、小型40台で要望により設置し捕獲された場合、市の職員が現地に向きその後の処理を

防災

田村明美議員（日本共産党）

問 防災対策で、県は市内の土砂崩れ危険箇所180カ所を指定しているが、住民に危険性を認識してもらい早めの避難、被害軽減対策を行政が積極的に図るべきではないか。

答 【建設課長】住民の方等の御協力もいただき、状況変化等があれば連絡をいただき、現地を見て対応したい。

答 【総務課長】土砂災害等の保全等に関する事案は、県が所管を担当している

公共交通

田村明美議員（日本共産党）

問 高齢者等の交通施策として低額運賃で利便性が高いと普及しているデマンド交通（予約制乗り合いタクシー）の実施検討は。

答 【市長】デマンド交通は、不特定多数の輸送に不向きであり、通勤、通学等の用途には適さない。市内循環バスは広く平等に利用でき、市中心部と地域を結び市民の足として重要な役割を担っていると考えている。

行く。

問 匠瑳市の主要産業である農業基盤施設が老朽化している。多面的機能支払事業を広域化して修繕を行うてはどうか。

答 【産業振興課長】水路や農道の補修については、多面的機能支交付金の長寿命化事業で実施できるが、この長寿命化事業を申請している保全会はない。しかし、共同活動の中でも認められているので実施しているケース

ので、県と協議し対応したい。

宮内康幸議員（新政会）

問 以前、自主防災組織のリーダーについて、その存在の重要性やリーダー育成が欠かせないとの答弁をいただいたが、その後リーダーの育成について、どのような取り組みをしているのか伺う。

答 【総務課長】県等が主催する自主防災リーダーの育成に関する研修会等について、自主防災組織に情報を提供し、また活用いただくことで、地域の防災活動にかかわる

はある。広域化して事務的な効率化を図ろうとする場合は200ヘクタール以上で組織化支援補助がある保全会の規模としては、国は200ヘクタールから300ヘクタールを標準的な規模と考えていることを、農業事務所から伺っている。施設補修など、交付金に係る説明会で丁寧に説明しているの、関係団体は理解いただいていると認識している。

討論

議案等に対する討論は次のとおりです。

- 議案第1号 反対の立場 1件
- 賛成の立場 1件
- 継続審査事件平成30年6月定例会陳情第1号 反対の立場 1件

行政視察

文教福祉常任委員会



▲運営状況の説明を受ける

9月10日（月）匠瑳市学校給食センターを視察しました。

産業建設常任委員会



▲整備計画の説明を受ける

9月11日（火）施設改修を予定している八日市場駅北口広場を視察しました。

議員研修



開会に先立ちあいさつする小川議長

10月10日（水）に成田市において、千葉県北総地区11市の市議会による「平成30年度北総地区市議会正副議長会議員研修会」が行われました。

講師に、地域活性化・まちづくりコンサルタントの水津陽子氏を招き、「地方創生戦略に求められる視点とその進め方」として、地域のブランド力について講演がありました。

本市からは、10名の議員がこの研修に参加し、熱心に講演に聞き入っていました。



講演を受講している議員



講演する水津陽子氏